江戸取のＩＣＴ教育ーオンライン授業に至るまでー

○本校のICT教育の歩み

本校では、全国でもいち早くCAI【computer-assisted（aided） instruction】教育を導入し、1997年には校内にサーバーを立ててドメインを取得、学校ホームページを一から本校教師が作成するところからスタートしました。学校における授業が中心ですが、どこでもネットを経由して学習ができるe-ラーニングを導入してきました。校内にもPCを100台導入し、うち50台は生徒が休み時間など自由に使用することができるようになっています。

2017年にはClassiを導入。学習を始め、互いのコミュニケーションツール、自身の活動を記録する学習記録機能、ポートフォリオ機能、学習動画コンテンツなど、様々に活用を進めてきました。

このClassi導入に伴い生徒共用のタブレット端末iPadを試験的に90台導入、授業内での活用をしています。理科の授業や実験を始めとして、英語や社会、体育、技術等の各教科の授業、総合学習や道徳・LHR等の授業、アフタースクールや自主的活動、部活動等様々な活動において利用しています。

そして2019年度より中学1年生へ一人に1台のiPad（セルラーモデル）を導入しました。これは校内外どこにいても学習を進めることができるように、まさに学びを止めないための選択であり、セルラーとWiFiのハイブリッド通信による学びの実現でもありました。これが今回のコロナ禍においては 非常に有効に機能することとなりました。

○ICT機器を使って普段の授業はどのように変わっていくのか

今までの文房具、筆記用具を使った授業＝紙媒体の教科書や紙のノートを使うといった授業はもちろん大切であり、ICTはそれを完全に置き換えるものではありません。文房具の一種であり一つの学習ツールであって、決して万能なものでもありません。ICTは、あくまでも今の教育をよりよくするための補助ツールに過ぎません。使うことが目的ではなく手段なのです。したがって、今回のコロナ禍においては、生徒への直接の伝達ツール、また本校教師作成の学習ビデオやオンライン授業を受ける時にも大いに役立っていましたが、最終的にはそれを生徒へ送り出す我々の教師力が全てであることは間違いありません。

緊急事態宣言により当面の間休校となることが決定した4月以降、校内のICT教育推進委員会で検討を重ねた末、江戸取の情熱あふれる教師集団は互いに学習ビデオやオンライン授業の研修を行い、また保護者の皆様の協力も得て、非常に短期間で生徒たちへ充実した授業を展開することが可能となりました。先生方は日々オンライン授業をどのように行うか、検討を重ね工夫して進めました。できるだけ分かりやすくというだけではなく、どうしたら見やすくなるのか、声が聞きやすくなるのか、手元のものを分かりやすく写すにはどうしたら良いか、また家から出られず運動もあまりできない生徒たちと楽しく体育の授業をやるために、学年の先生方総出でダンス動画の撮影をしたり授業を行ったりと、様々に考え工夫していきました。

中等部・高等部合わせて、2200名余の生徒が在籍していますが、全ての生徒・家庭と学校がオンラインで繋がっていたことは、本校の魅力の一つであるように感じています。緊急事態となっても、ピンチをチャンスに変えようと、生徒達もオンライン授業と自学習を両立させていました。誠実に、謙虚に努力する生徒たちに対して、私たちができることは何か、できることを探して一生懸命取り組んできた3ヶ月間でした。

【Classiに入力された実際の内容です】

■生徒：生徒試験まで23日！（5月22日）普段の授業がどれほど大切だったのかを実感しました。先生の道徳の授業でもあったように、あたり前の日常の価値が、わかったように思えます。残り552時間。試験開始までは561時間くらいだと思います。数学は苦手な因数分解を、国語は古典を、英語は教科書の復習を、理科と社会は暗記をしたいと思います。

■先生：当たり前の日常に、感謝の気持ちが高まると、どんどん力を伸ばし、成長していくことができます。

■生徒：わかりません。というか頭がもう働きません。今日も証明と戦っています。線分BDは角ABCの二等分線だから～という細かい説明を、僕の場合、二等分線より～で済ませていたり。何が何の何である。が上手く書けません。なんだか数学より国語力です。そういえば国語の授業で篠田先生に教えていただいたばかりでした。今日の気づきを無駄にせず、国語も数学も頑張ります。

■先生：とても良いことに気付いているコメントでした。国語力、本当に大切です。全ての教科の土台は、国語力＝読解力です。皆さんの学習時間を見ていると、英語・数学の学習はとても多く確保できていますが、国語の学習が少ないかなと感じます。教科書を読み、主人公が伝えたいと思っていることは何か、など、自分で考えることをしてみるなど、国語の学習時間も増やしていくことは、全ての教科の学力向上に繋がります。

■生徒：今日は、英会話の宿題をきっかけに、初めて海外映画を見ました。テスト勉強の息抜きになったので、この土日もしっかり勉強したいです。

■生徒：今日は、先生が紹介してくださった「中・高6年分の英単語Roots」が届きました。ペラペラ見てみただけなんですが、面白そうで、これからじっくりみていきたいです。

■生徒：10 時間達成できたことはとても嬉しいです。しかし学習時間のランキングを見ると自分よりもっともっと勉強している仲間がいるということを思い知らされます。それがとても悔しいです。
自分の中では 10 時間達成できた事に喜んでいても周りにはもっと頑張っている仲間がいるということを忘れずにこれからも学習に取り組んでいきたいです。
また最近 1 日全教科に取り組めなかったの今日全教科取り組めて良かったです。

■先生：仲間が頑張っていると、「自分もやってみよう！」「自分も頑張ろう」…という気持ちになりますよね。江戸取卒業の時には、最高に素敵な桜の花を咲かせてほしいし、大学受験だけに留まらず、頑張っていること全てが皆さんの未来にプラスになっていくのは間違いありません。

【保護者からのいただいた温かいお言葉です】

いつも子供達を温かく優しく見守って下さりありがとうございます。特にこの休校中の先生方の熱意溢れるご対応には感謝の気持ちでいっぱいです。
毎日、子供達一人一人へのコメントや子供達の為になる情報配信などいつもありがとうございます。とても為になることばかりで、私も拝読させて頂き勉強しております。先生方には本当に感謝しております。

先日の盛岡駅でのラジオ体操もそうですが、先生方は子供達がどうしたら少しでも授業を楽しむことができるかを常に考えて下さり、お忙しい中も準備をして下さっているのだと思います。そんな先生方の日頃のご尽力を想像すると感謝の気持ちで胸が熱くなります。
その時も隣りで笑いながらラジオ体操をしている娘に思わず「ねぇ、あなたが今楽しくラジオ体操している影でどれだけ先生方がご尽力して下さっているか分かる？プライベートな時間をも使って、あなた達に寄り添おうとして下さってる。そういう思いやりを感じ取れる子になってほしい。本当にあなた達は幸せよ。こんなに生徒を思ってくれる先生方で。」とラジオ体操をしながら子供に言い聞かせました。

もちろん、今回のことだけでなく江戸取の先生方には普段から色々な場面でそれぞれに熱心なご指導を頂いております。江戸取の先生方は本当に熱いです。子供たちを愛して下さっています。親としてこんなに嬉しいことはありません。

オンライン授業が始まり早 10 日。我が子達もきちんと取り組んでいるか、時々様子を見ています。〇〇先生の数学授業などにぶつかると、私まで見入ってしまう程の躍動感があり、時間が許されるなら、私も授業を受けていたいほどです。
そして理科嫌いの兄も最近化学が楽しいようです。ほんの少しの web 小テストなどで状況確認できるのか、配信されると楽しんで取り組んでる様子に、私も嬉しくなります。

コロナ状況の最前線で闘う先輩方に敬意を払いつつ、学業を本分にしている学生に対して、知恵と工夫を結集して躍動感ある毎日を提供してくれる先生方に心から感謝するばかりです。

【オンライン授業の感想の一部です】

■普段は、ホームルーム別で授業を受けていますが、オンラインは、学年で複数のクラスが一つのグループになっていました。そこで、普段は一緒に授業を受けていない仲間の意見などを目にすることがあり、とても刺激になりました。具体的には、現代文の授業で、PC上に自分の意見を入力するという課題があり、そこで友達の意見を知ることができたことは、とてもよかったです。色々な考え方があるということを知ることができました。

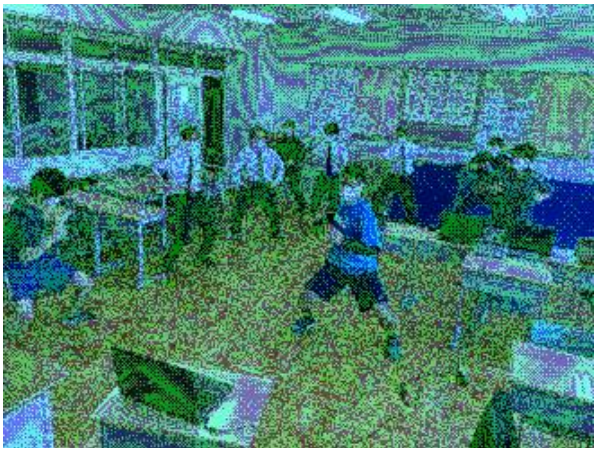
■今日はオンライン授業最後でした。毎日とても楽しくて学校に行っている気分になれました。授業をしてくださった先生方、私たちに様々なサポートをしてくださった先生方、本当にありがとうございました。

■今日の体育、とても楽しかったです。本当に毎回ありがとうございました。私も、母と一緒に楽しく運動することができて、気持ち良い疲れを体感する事が出来ました。来週からの学校での体育も、全力で運動したいと思います。

■今日の体育は、弟も一緒に参加して、盛り上がりました。今後もストレッチを、毎日やっていきたいと思います。

■オンラインでも、ビリー隊長の運動や、ハンズクラップダンスなどを通じて、離れていても ONE チームでできたと思いました。また、しっかり運動することによって、ストレス解消にもなりました。今後も、疲れた時に、オンライン授業でやってきたことを活かして運動していきたいと思います。

■オンライン授業の体育は、いろいろなことをやった中で、先生方も一緒に取り組み、とても楽しそうにやってる姿を見て、私もとても楽しくなりました。ワンチームになり、体育ができとても良い経験になりました。ありがとうございました。



【生徒の声】

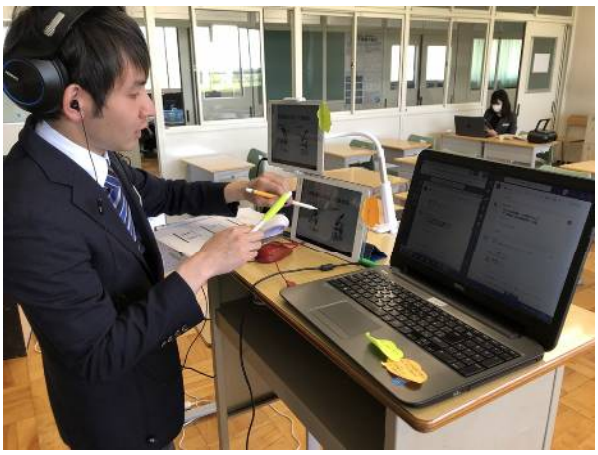
私は、今回のコロナ休校期間中の 3 カ月間、色々な事を学ぶことができたと思います。
休校になったばかりの頃は、それまでの何でもない日常がどれほど幸せだったか、そして学校に行けないことがどれだけ辛いかを嘆いてばかりいました。
そうして、ただただ課題をこなしながら一日が淡々と過ぎていくよろな日々を送っていました。普段よりもたくさん睡眠も取れるし、普段よりもたくさんテレビや音楽などの好きなことも出来るし、以前の私にとっては、自分の好きなことを好きなようにやって、楽しい生活をしているはずなのに、どこか張りがなくやり甲斐のないのっぺりとした一日を過ごしていたように思います。

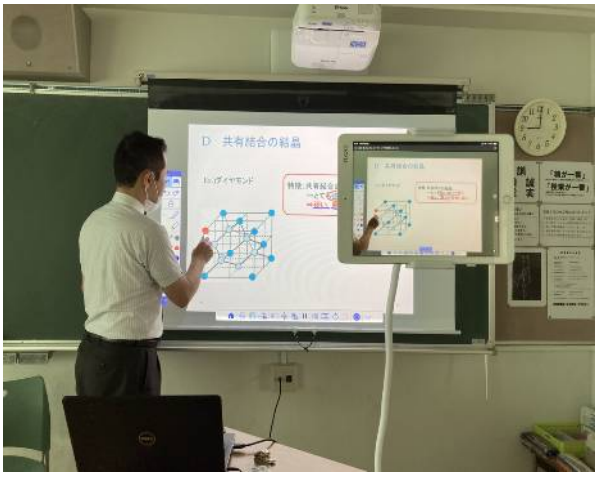
そんな時、 Classi の「ピンチをチャンスに!」という先生方からのコメントを読み、ハッとしました。「時間がある今だからこそ出来ることがあるのではないか、この時間を無駄にするのはもったいない。」そんなふうに気付くきっかけをいただいた言葉でした。

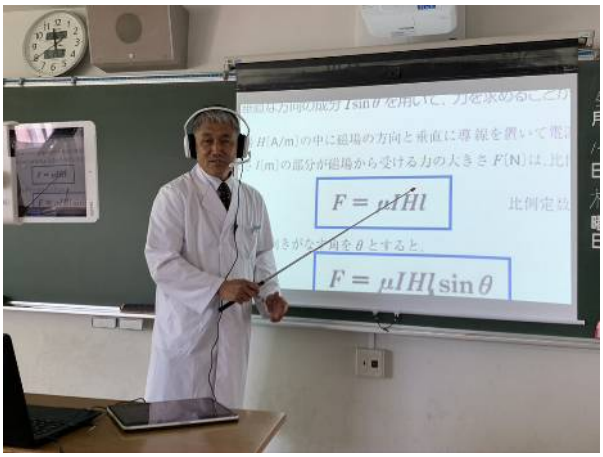
そこで私は、「昔段できないことをやってみよう!」 と思い立ち、学年の課題の一つでもあった「お料理」（卵料理・野菜を使った料理・手作りお弁当）に挑戦することにしました。

それまで、食事については全て母親に任せていたため、料理をはじめとする家事をしたことがなかった自分でした。最初に、生野菜を洗ってカットするだけのサラダを作りました。しかし、そんな簡単サラダでも父と母がとても喜んでくれたことが、とても嬉しかったのを覚えています。その日から出来る限りタ飯のお手伝いをするようになりました。
自分で献立を考え、料理をすることを経験したことにより、普段当たり前に出てくる食事に対しての感謝の気持ちが湧きました。そして、何より「おいしい」の一言がとても嬉しいものであるとことも知りました。
このことがきっかけとなり、我が家はプランターで家庭菜園を始めることになりました。トマト、きゅうり、セロりなどなど、数種類の野菜が、今元気に育っています。先日、第一号のトマトを収穫し、家族皆でひと口ずつ大切に食べました。そんな経験からも農家の方々のご苦労を思い、改めて導敬と感謝の気持ちが生まれました。

また、勉強に対しても意識が変わりました。何より時間を無駄にしないという思いが強くなったのです。私は、人一倍、二倍、勉強をしないと皆に追い付けないので、これまでも自分なりには努力をしてきたつもりです。
でもなかなか思うように成績は伸びません。そこでどこに原因があるのか、これまでの勉強法をじっくり振り返ることにしました。
すると、たくさんの無駄があることに気づきました。今はその無駄を出来るだけ省けるようにし、効率よく時間を使えるように努力しています。結果は、後からついてくると信じ、これからも試行錯誤しながら勉強に取り組んでいこうと思います。しかし、このように前向きな気持ちになれる時ばかりではありませんでした。学校に通えず、友人たちにも会えないので、高いモチベーションをキープするのは難しい状況でした。そんな時に励まされたのは、オンライン授業であったり、 Classi での先生方のコメントであり、オンラインホームルームでの先生のお話でした。
先生方が私たちのために日々笑顔で元気を送り続けてくれたことで、何とかコロナ休校中も落ち込むことなく楽しく張りのある生活ができたのだと思います。
また、学校が再開した今も尚、先生方がオンライン授業の形態を活用して、オンライン質問会を行ってくれています。私達生徒にはとてもありがたいことです。
皮肉にもこのコロナ休校が普段忘れがちな思いやりや感謝の気持ちなどに気付かせてくれ、私たちの意識を高くさせたことも事実です。でも、やはりコロナはとても恐ろしいし、とても憎いです。
コロナにより世の中の生活様式が全く違うものに変わろうとしています。私達はそんな社会の移り変わりに柔軟に対応していかなければいけません。
コロナ禍の辛い時だからこそ、一人一人の力の大きさ、助け合い、励まし合い、支え合うことの大切さを実感できました。
今起きていることを忘れることなく、将来に向けて強く優しく生きていこうと思います。






F = μIHl
F = μIHl sin θ